

## 令和4年度第3回松山市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和4年11月24日（木）13:30～15:00

場 所：KH 三番町プレイスビル3階第1会議室

主 席 者：地域包括支援センター運営協議会委員11名、各地域包括支援センター、事務局

議 事：（1）地域ケア推進会議と地域課題について

（2）その他

### （1）地域ケア推進会議と地域課題について

（意見）

- 緊急時に必要な情報が記載されたカードを作成する事業を、民生・児童委員協議会や地域包括支援センターが取り組んでいる。お互いのカードの内容を共有できれば良いが、個人情報への壁があり困難である。また、情報を更新し続ける必要があるが、マンパワー不足で難しい。こういった課題に対しては行政で統一的にマニュアルやルールを整理する余地があると思う。
- 高齢者が誰かと繋がっていることは重要である。多くの人が繋がりやすい環境作りが大切である。ただ、素晴らしいイベントを企画しても移動手段がないと参加できない。一部の地域で住民主体による地域交通が立ち上がっており、新たな移動手段のきっかけになればよい。
- 地域交通については地域住民が主体で行政がサポートする必要がある。地域と行政が各々の立場でバランスを取りながら協力することが大切である。
- 高齢者はコロナ禍で外出機会が減り、情報が入りづらくなっている。効率的な情報伝達手法としてインターネットや SNS を活用する必要がある。IT 機器に不慣れな高齢者をトレーニングする機会も必要だ。
- 民間団体が行うスマホ教室や移動スーパーなど、情報の取得や繋がり場について民間団体のシステムも面白いと思う。民間団体をうまく活用するとコミュニケーションのきっかけがつかれるかもしれない。
- コロナの影響は大きく、閉じこもっている方にどう対応するのかが課題だと強く感じる。コロナを経験して地域包括ケアシステムの原点に戻らなければならないと感じた。
- 高齢者がどういうニーズや課題を持っているのかしっかり把握したうえで、課題解決に優先順位をつけて取り組むことが重要。地域包括支援センターだけで課題解決を図るのは難しく、地域住民や社会資源を活用して取り組む必要がある。

### （2）その他

（意見）特になし